

序章 調査の概要

1. 調査の目的

沖縄県においては、アウェイツーリズムなど新たな誘客による観光振興、「観るスポーツ」をとおした青少年の人材育成、FC琉球や沖縄SV(エスファウ)などの県内チームに活躍の場を確保することによるサッカー振興などを図る観点からサッカースタジアム整備が必要であると考えており、平成 29 年8月に「Jリーグ規格スタジアム整備基本計画(以下、「基本計画」という。)」を策定した。

基本計画においては、スタジアム整備に係る基本方針や、施設規模及び導入機能等について検討を行うとともに、スタジアム周辺の魅力向上やスタジアム運営に係る財政負担抑制の観点から、複合機能の導入について検討を行っている。

本事業においては、基本計画の内容を踏まえ、複合機能導入の実現可能性やスタジアム本体を含めた効果的な整備・運営手法等について検討を行うこととする。

2. 調査内容

(1) Jリーグ規格スタジアムへの参入が有望な民間事業者等の調査・分析

スタジアム本体及び複合機能の整備、運営等について、参入が有望な民間事業者及び関心のある民間事業者等からの意見聴取を実施する。

- 1) 意見聴取の実施に係る実施要領の作成
- 2) 参入意欲、参入条件等の意見聴取の実施
- 3) 意見聴取内容の整理

(2) 参入が有望な民間事業者等の調査・分析を踏まえた効果的な事業スキームの整理

- 1) 上記の調査・分析を踏まえ、事業参入に係る事業スキームを複数案提示し、比較検討を行う。

(3) 有識者等からの意見聴取

- 1) 調査手法や調査結果に対し、専門的な意見や提案等を得るため、有識者等(行政関係者、学識関係者、サッカー関係者等)からの意見聴取を行う。

(4) 各調査結果を踏まえた事業化方策等の整理・検討

- 1) 各調査結果を踏まえ、事業スキームごとに基本計画で示された課題についての対処方策の分析・整理を行う。
- 2) スタジアム本体及び複合機能の整備イメージの検討
- 3) 事業者公募に向けた考え方の整理

3. 調査フロー

本調査においては、最初に複数の事業者に対して先行サウンディング調査①を実施し、事業者の視点を把握したうえで、公募の際に示す条件を設定する。その後先行サウンディング調査②を実施し、民間事業者の意向を把握したうえで、スタジアムの事業手法や複合機能の内容、事業スキームに関する検討を行う。

本調査の実施フローは以下のとおりである。

